

日本の落日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

グローバルゼーションにおける競争は、勝利と敗北を与える。世界における新しい標準とその占有は、勝利と敗北を明らかに表すのである。

他方において中国という新しい現実が存在する。彼らの諜報戦争は、その現実という厳しさなのである。

これらにおいて新しい世界と未来の所有という現実が存在するのである。また第3次世界大戦という現実へ決して空想でないのである。

これらはパワーゲームの終焉であることは理解すべきである。現実には正義における構築を否定するのである。

また、新しい技術とシステムにおける未来は存在する。それらへの参加が全てにおいて未来という現実への参加の条件なのである。

現実への対処は、情報収集と分析における正しい現実の構築によることは上記現実において必ず正しいことが認識できるものである。

これらは歴史のイフという逃避を思い浮かべる。しかし全ての歴史は現実において存在し、イフという空想は存在しないのである。

これらは政治が常に正しい現実の創造を要求されることであり、政治の無能さは、未来の喪失を与えることは必ず理解できるのである。

これらにおいて新しい世界の潮流は、技術と資本における未来の創造であることは理解しなくてはならない。

これらにおいて自己プレゼンスを有することが競争と現実への勝利を与えるのである。

これら歴史の終焉は、ウサギと亀という寓話を思い浮かべるものである。